

認知症の何が課題なのか？

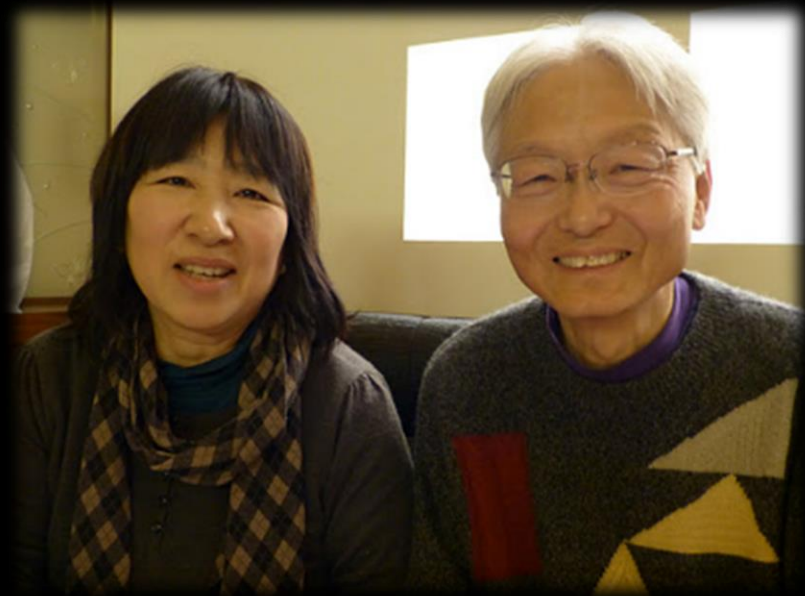
NPO法人認知症フレンドシップクラブ

株式会社スマートエイジング

徳田雄人

- 1 課題との出会い
- 2 今、取り組んでいること
- 3 みなさんに知恵や力をお借りしたいこと

1 課題との出会い



例え、病気の程度は同じでも、
住む地域や環境によって、
暮らしの様子が全く違うのはなぜ？



認知症の人が生き生き豊かに暮らすには、介護の通所介護施設やグループホームや医療の通所リハビリ施設や病院などに閉じ込めるのではなく、地域に出て行き、買い物をしたり、外食をしたり、喫茶店でコーヒーを飲みながらおしゃべりをして、認知症になる前と変わらない暮らしができるのが望ましい。(中略) 認知症の人を特別な人とみるのではなく、物事を理解するのに時間がかかる人だと認識する知識をもってもらい **コミュニティの一員**として受け入れられることが大切です。

佐藤雅彦さん

埼玉県在住 認知症当事者

認知症

いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態

例えば・・・

銀行のATMでお金を下ろすことができない
スーパー店内で必要なものが見つけられない
商品の注意表示に目がいかず、誤飲してしまった
人と会う予定を忘れて関係が疎遠になってしまった
レジで精算を忘れ、警察沙汰になってしまう

専門的

対処

隔離

70年代

80年代

90年代

2000年代

現在

精神科病院

特別養護老
人ホーム

介護保険スタート
認知症グループホーム
施設から在宅へ

公的サービスの縮小へ

生活を支える商品・
サービス創造の時代へ

生活

普通の暮らし

商品・サービス

認知症は、誰の課題なのか？

医療・介護リソースの問題？

“普通の人”がジブンゴトとして関わるには？

2 今、取り組んでいること

これまで関わりの薄い人・組織を
巻き込み、認知症の課題を、
社会全体で取り組めるようにする



認知症になっても
安心して暮らせるまちの行動ネットワーク



認知症・高齢社会の課題に取り組む
企業や自治体の支援



セクターを超えたアクションの促進
政策・ビジネス・活動の評価指標づくり

認知症になっても、



みんなが集まって
楽しい時間をすごせるカフェ



安心して行ける旅行



安心して
買い物できるお店



認知症の人も参加する
まちづくり会議

安心して暮らせる町をつくる



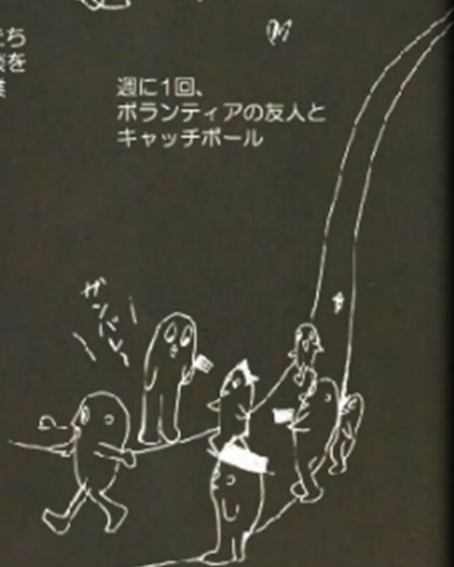
子どもたち
に体験談を
語る授業



週に1回、
ボランティアの友人と
キャッチボール



認知症の人が働く場



認知症の人と伴に
走るマラソン

みんなの少しずつが

大きな力に

認知症になっても
安心して暮らせる町って
どんな町だろう？



RUN **伴** TOMO-RROW2013 Hokkaido to Osaka 1700km



認知症の人も、そうでない人も、
ひとつの襷をみんながつないで、ゴールを目指す
全国のひとつひとつの町が、そんな町になれば…
そんな想いを込めて、走ります(歩くのも可)

主催 NPO 法人認知症フレンドシップクラブ
RUN伴2013実行委員会

北海道 7月25日(木)～28日(日)
東北 9月13日(金)～16日(月・祝)
関東 9月21日(土)～23日(月・祝)
中部 9月28日(土)～29日(日)
関西 10月12日(土)～14日(月・祝)

※日程は変更になる可能性があります
どなたでも参加できます

詳しくはホームページまで
<http://runtomo.jimdo.com/>



地図上のルートはおおよそのイメージです。
実際に走るルートと異なる可能性があります。















ランナーの中継・休憩場所の提供
飲料・軽食の提供
(株式会社ファミリーマート)

IT支援・
社員の運営参加 (株式会社
富士通研究所)



ドリンク提供・社員参加・寄付
関連イベントの会場提供など
(アサヒグループホールディングス株式会社)



安心

認知症 明日へ 地域で暮らす

「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。22日、東京都府中の松園荘老人ホームは、認知症の地域生活の重要性を伝える「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。22日、東京都府中の松園荘老人ホームは、認知症の地域生活の重要性を伝える「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。

活躍の場見つけ社会貢献



認知症の人や家族が参加した清掃ボランティア活動の様子。左から、認知症の人、家族、ボランティア。

啓発イベント参加／清掃ボランティア

「認知症の人や家族が参加した清掃ボランティア活動の様子。左から、認知症の人、家族、ボランティア。」

「認知症の人や家族が参加した清掃ボランティア活動の様子。左から、認知症の人、家族、ボランティア。」

2013年10月1日（読売新聞）



人生を一緒に走る

認知症の人とその家族、支援者らが、10月1日、東京都府中の松園荘老人ホームで、認知症の地域生活の重要性を伝える「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。22日、東京都府中の松園荘老人ホームは、認知症の地域生活の重要性を伝える「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。

55歳で診断 元教授「力が出てきたこれからだ」

奈良市の元大学教授、大津健史さん（55歳）が、認知症と診断された。大津さんは、認知症と診断された後、元教授としての力を発揮し、認知症の地域生活の重要性を伝える「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。22日、東京都府中の松園荘老人ホームは、認知症の地域生活の重要性を伝える「認知症の世に心をもち、いっしょに歩んでほしい」という思いが込められた。

2013年10月15日（朝日新聞）

認知症（および認知症機能低下） に伴う事件・事故の増加

鉄道事故
高速道路の逆走
電気ガス水道の使いっぱなし
振り込め詐欺
認知症の人の行方不明
誤飲誤食
虐待ネグレクト…

事件・事故

潜在的な事象

生活ニーズ



＜企業・自治体＞
対処
問題解決
新規事業領域の創造

交通

金融

都市
計画

IT

流通

コミュニ
ティー

地域
活性化

メディア

働き方

教育

商品

医療

DFJI

認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ



呼びかけ人(五十音順、敬称略)

- 荒川直美(NPOむすび)
- 稲垣康次(富士宮市福祉総合相談課)
- 岡田誠(株式会社富士通研究所 R&D戦略本部)
- 奥井康文(大日本印刷株式会社ソーシャルイノベーション研究所)
- 佐藤雅彦(認知症当事者の会3つの会代表)
- 庄司昌彦(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)
- 田中克明(コクヨS&T株式会社事業戦略部)
- 徳田雄人(スマートエイジング／認知症フレンドシップクラブ)
- 中川浩明(プルデンシャル生命保険株式会社)
- 樋口美由紀(コクヨ株式会社RDIセンター)
- 前田隆行(NPO法人町田市つながりの開)
- 前田亮一(在宅総合ケアセンター元浅草)
- 若野達也(若年認知症サポートセンター絆や／認知症フレンドシップクラブ)
- 渡辺えり代(香研究会IRI)

Dementia Friendly JAPAN Initiative



当事者
家族・支援者

自治体

企業

2011.10 ●
認知症から見た、
『助け合う街』

2012.2 ●
人生の主人公で
あり続ける社会とは？

2012.6 ●
認知症の人と考える
未来の道具

2013.6 ●
認知症フレンドリー
ジャパン・イニシアチブ



HistoryPinを活用した
認知症の人を含む多世代対話



高齢社会ハッカソン
(国際大学GLOCOM)



認知症の人を含めた
日本縦断タスキリレー RUN伴
(認知症フレンドシップクラブ)



富士山本宮浅間大社二の鳥居から富士山を望む

認知症の人にやさしい
旅行プロジェクト(富士宮市)

認知症フレンドリー 問い・原則・指標のプロトタイプ

認知症の人が自由に外出できるには？

香りで認知症のQOLを向上させるには？

問い どうしたら
自由に外出/買い物
できる世の中になれるか

原則

- 1 本人の意志が尊重されている
- 2 本人・家族を責めない
- 3 認知症のことが理解されている

指標

- 1 隣近所とコミュニケーションがとれているか
- 2 困ったときに助けを求める仕組みがあるか
- 3 当人主眼している仕組みがあるか

メンバー 岡本 前田 佐藤

★ DF.JIキックオフセッション★

問い どんな香りが認知症の人の
生活を良くできるか？

原則

- 1 個別性の確保
- 2 1人の生活に根ざす
- 3 2家族の生活に根ざす
- 3 本人の嗜好に根ざす

指標

- 1 香りが本人の生活リズムを整えるのに役立っているか？
- 2 香りが家族と本人の関係性に寄与しているか？
- 3 香りが本人にとって満足であるか？

メンバー 藤辺 弘史 角野 孝
河野 禎え 植藤 シンジ

★ DF.JIキックオフセッション★

認知症フレンドリー 問い・原則・指標

認知症の人の背景情報を上手に伝えるには？ 認知症の人と同じテーブルで語るには？

問い どうしたら
自分の背景を他人に伝えられるか？

原則

- 1 自分の伝えたい事を伝える
- 2 伝えられた人が理解できる
- 3 1.2が守心してできる

指標

- 1 伝わる仕組み、環境が整備されている (視覚) (聴覚) (認知) (知識)
- 2 仕組みが使われている (利用率)
- 3 仕組みのフィードバックがある (ユーザー評価) CS

メンバー 尾形、杉妻、つるおか、田中

★ DFJiキックオフセッション★

問い 認知症の人と知るか
同じテーブルで語るには!?

原則

- 1 伝わる人たちがいかに楽か。
- 2 テーブルはフックの「関係づくり」を大切にする。
- 3 日本人と外国人の「高と低」を考慮する。

指標

- 1 「みんながえがおにならている。」
- 2 「私に話したひとありがとう。」
- 3 「私が聞きたこと、これが聞いてみたい。」

メンバー 稲垣、城田、古池、篠原

★ DFJiキックオフセッション★

認知症フレンドリージャパン・サミット



2014年7月5・6日開催